

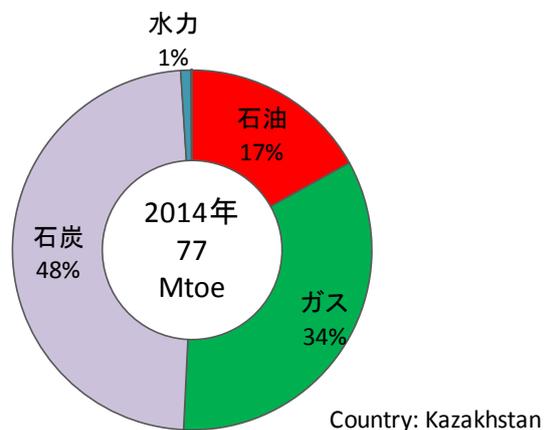
2-16 カザフスタン

1. サマリー

1. エネルギー事情

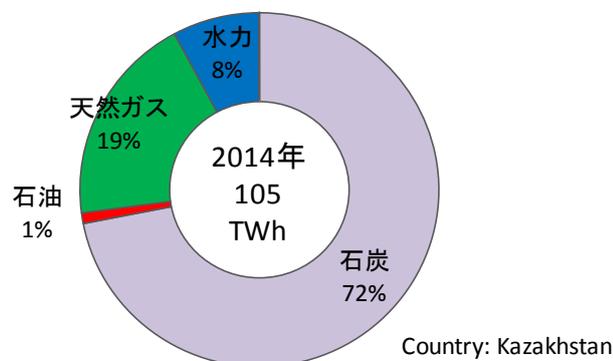
- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 77 百万 toe (日本の 0.17 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2014年) : 4.43toe (日本の 1.28 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 217%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 223.7 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 18.8%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 12.94CO₂ 換算 ton (日本の 1.4 倍)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 石油 49.3 年、天然ガス 75.7 年、石炭 316 年

一次エネルギー供給構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー省が化石エネルギープロジェクト関連法の構築と戦略立案・実施、電力および原子力分野の推進と規制、環境保全を担当する。Kanat Bozumbayev 氏 (KEGOC 元取締役会会長、Pavlodar 地方前知事、2015 年 3 月～) が同省大臣を務める。但し、同国のエネルギー分野を実質的に支配しているのは、Nazarbayev 大統領娘婿の Timur Kulibayev 氏 (国家福祉基金「Samruk Kazyna」前総裁/Gazprom 現取締役)。

(2) 基本政策

- 石油・天然ガスの輸出拡大を目指し、外資誘致・インフラ整備・輸出先確保を進めてきたが、2005 年の新 PSA (生産物分与契約) 法制定、2007 年の炭化水素・鉱物資源開発法の改正等、国家による資源管理が強化され、外資に対する圧力が強まりつつある。
- 原油と天然ガス輸出ルートが多様化を模索している。その一環として、CPC パイプライン能力拡張 (工事中)、中国向け原油パイプライン (完工) の他、カザフ原油をカスピ海経由で欧州に輸出する Kazakhstan Caspian Transportation System 構築を目指す。

(3) 最近の動向

- 2016 年 7 月、Tengiz 海洋鉦区オペレーターTengizchevroil は同油田の拡張プロジェクト (「The Future Growth Project」と「Wellhead Pressure Management Project」) の最終投資決定について、パートナーから同意を得たと発表した。両プロジェクトの推定コストは US\$368 億。2022 年から拡張プロジェクトからの原油を産出予定。この投資を通じ、同油田の原油生産量は 26 万 b/d 増加し、計 85 万 b/d となる見通し。
- 2016 年 10 月、2013 年 10 月以降生産停止中の Kashagan 海洋鉦区の生産が再開された。
- Nazarbayev 大統領は 2 年以上ぶりの内閣大改造に着手した。2016 年 9 月 8 日、Karim Massimov 氏を首相から解任し治安機関の責任者に任命し、翌 9 日には Bakytzhan Sagintayev 第 1 副首相を首相に昇格させた。また上院は、Dariga Nazarbayeva 副首相を国際関係・国防委員会の委員長に選出した。一連の内閣改造について、6 月に西部 Aktobe、7 月に旧都 Almaty で相次いだテロを受け、国内の治安立て直しを担うのが目的とされる。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- カスピ海 Kashagan 油田を採鉦・開発する AIOC (North Caspian Operating Co.) コンソーシアムに、Inpex (国際石油開発帝石) が 7.56%出資している。
- 2011 年 5 月、日本・カザフスタン原子力協定が発効した。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Kazakhstan

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		77 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		4.43 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.42 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		217 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		223.7 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		12.94 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	48 %
	石油	17 %
	天然ガス	17 %
	原子力	0 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	-0 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-117 %
(9) 石油の輸入依存度		-546 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 天然ガスの輸出先	第1位	ロシア (98%)
	第2位	キルギス
	第3位	セルビア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : Natural Gas Information 2016, IEA